

平成30年度
網走市における景気動向調査
＜第IV四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

調査要領	1
1－1. 調査時点及び調査対象期間	
1－2. 調査対象	
1－3. 調査方法	
1－4. 回収状況	
第1章 概況	
2－1. 全体の動き	2
2－2. 業種別の動き	3
第2章 各判断項目回答割合と天気図	
3－1. 業況	4
3－2. 採算	10
第3章 産業別経営上の問題点	
4－1. 回答実数	11
4－2. 回答割合	11
第4章 産業別設備投資の状況	12
第5章 業界の景気動向等その他のご意見	13

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：平成31年4月1日(月)～平成31年4月30日(火)
- (2) 調査対象期間：平成31年1月～3月期実施、及び令和元年4月～6月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業(30件)、製造業(23件)、卸売業(20件)、小売業(39件)、サービス業(44件)の156社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX,もしくは返信用封筒による郵送で回答を受ける。

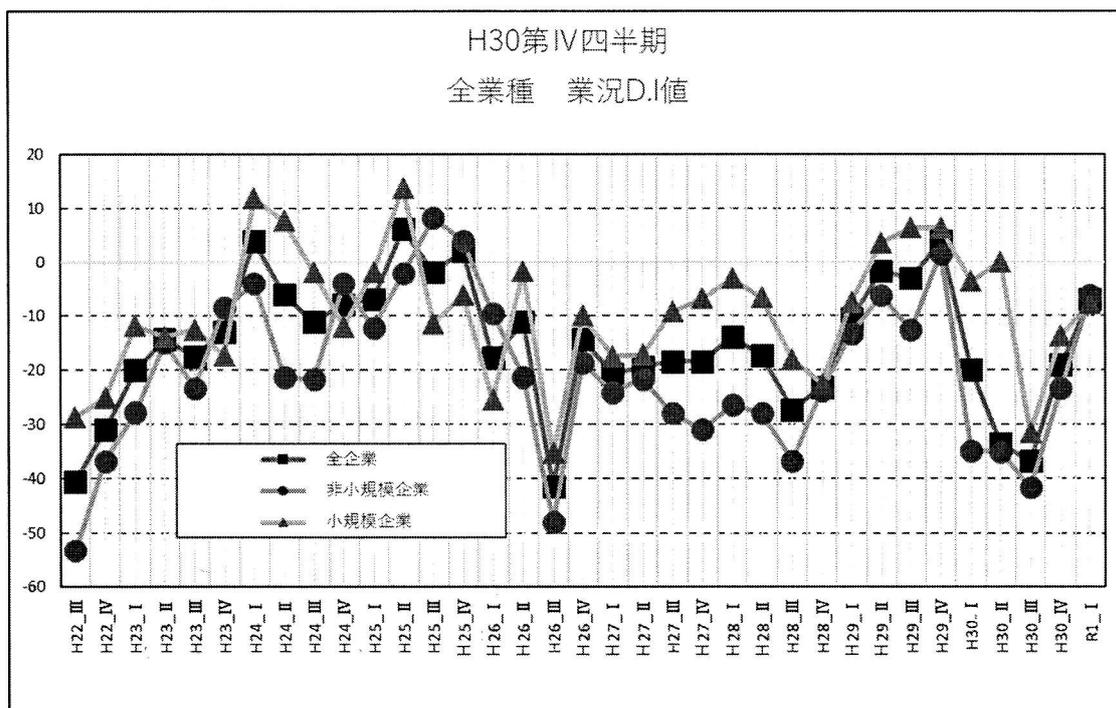
1-4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
業種 建設業		30件	24件 (非小規模企業:13件) (小規模企業:11件)	80.0%
製造業		23件	18件 (非小規模企業:9件) (小規模企業:9件)	78.3%
卸売業		20件	13件 (非小規模企業:8件) (小規模企業:5件)	65.0%
小売業		39件	28件 (非小規模企業:16件) (小規模企業:12件)	71.8%
サービス業		44件	32件 (非小規模企業:18件) (小規模企業:14件)	72.7%
合計		156件	115件	73.7%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下(卸売業、小売業、サービス業は5人以下)を示している。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



平成30年度第IV四半期（1月～3月）の業況は、前年同月比対比で「好転企業」20.8%「悪化企業」37.5%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は▲16.7と前期に比べ20.1ポイント改善しました。今期に入り改善傾向を示しましたが依然としてマイナス水準にあり、これで4期連続となりました。

業種別で見た業況は、卸売業が42.8ポイント改善し0、建設業は25ポイント改善の▲13.1、小売業15ポイント改善の▲25.0、サービス業については8.3ポイント悪化の▲22.6、製造業は8ポイント改善し▲27.7となり、サービス業を除くすべての業種で改善傾向を示したものの依然マイナス水準となっています。

次期（4月～6月）の業況判断はD.I値は、今期と比べ9.8ポイント改善し▲6.9を予想しており、業種別では建設業12.5、製造業0、卸売業▲15.4、小売業▲15.4、サービス業で▲28.6で卸売業、サービス業以外の業種で改善するとし、特に建設業はプラスに転じる予想を立てています。

経営上の問題点としては「人材不足」が全体の57.4%を占め、第III四半期との比較でも0.9%増加するなど深刻さを増しています。また、「人件費増」「諸経費増」を問題にしている企業が増加傾向にあります。

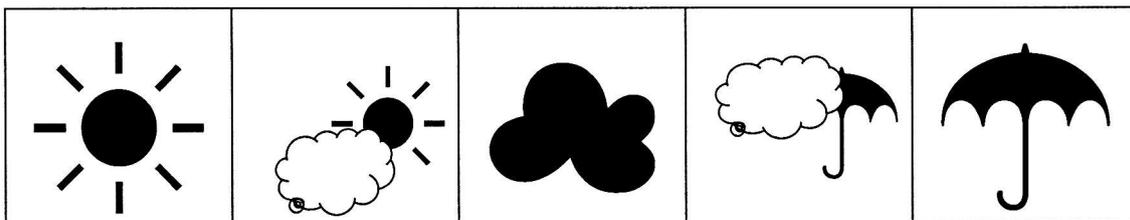
全体としては、4期連続のマイナス水準となりましたが、今期に入り改善傾向を示し、次期業況も更に改善を予想するなど回復傾向を示しています。しかしながらまだ予断を許さない状況にあるともいえ、全業種とも経営改善に向けた対応が強く求められています。

2-2. 業種別の動き

業種	規模/項目	売上高（建設業は完成工事高）			採算			次期（D.I値）		
		増加	減少	DI	増加	減少	DI	業況	売上	資金繰り
建設業	小規模	27.3	45.5	-18.2	18.2	36.4	-18.2	9.1	0.0	9.1
	非小規模	33.3	41.7	-8.4	15.4	38.5	-23.1	15.4	7.7	7.7
	全体	30.4	43.5	-13.1	16.7	37.5	-20.8	12.5	4.2	8.3
製造業	小規模	10.0	40.0	-30.0	0.0	33.3	-33.3	-22.2	-22.2	-22.2
	非小規模	50.0	12.5	37.5	0.0	11.1	-11.1	22.2	33.3	11.1
	全体	27.8	27.8	0.0	0.0	22.2	-22.2	0.0	5.6	-5.6
卸売業	小規模	0.0	20.0	-20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0
	非小規模	60.0	0.0	60.0	0.0	25.0	-25.0	-37.5	-25.0	-37.5
	全体	37.5	12.5	25.0	0.0	15.4	-15.4	-15.4	-15.4	-15.4
小売業	小規模	25.0	18.8	6.2	25.0	33.3	-8.3	-16.7	-33.3	-16.7
	非小規模	26.3	36.8	-10.5	20.0	40.0	-20.0	-37.5	-43.8	-37.5
	全体	25.0	18.8	6.2	19.4	32.3	-12.9	-28.6	-39.3	-28.6
サービス業	小規模	18.8	25.0	-6.2	7.1	21.4	-14.3	-14.3	-28.6	-14.3
	非小規模	20.0	50.0	-30.0	22.2	33.3	-11.1	5.6	11.1	5.6
	全体	19.4	38.9	-19.5	15.6	28.1	-12.5	-3.1	-6.3	-3.1

第3章 各判断項目回答割合と天気図

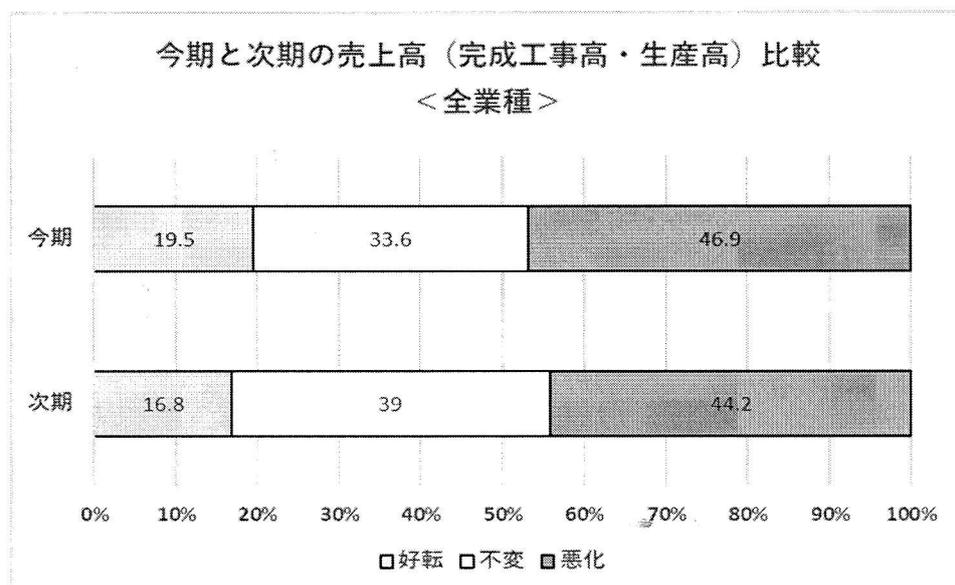
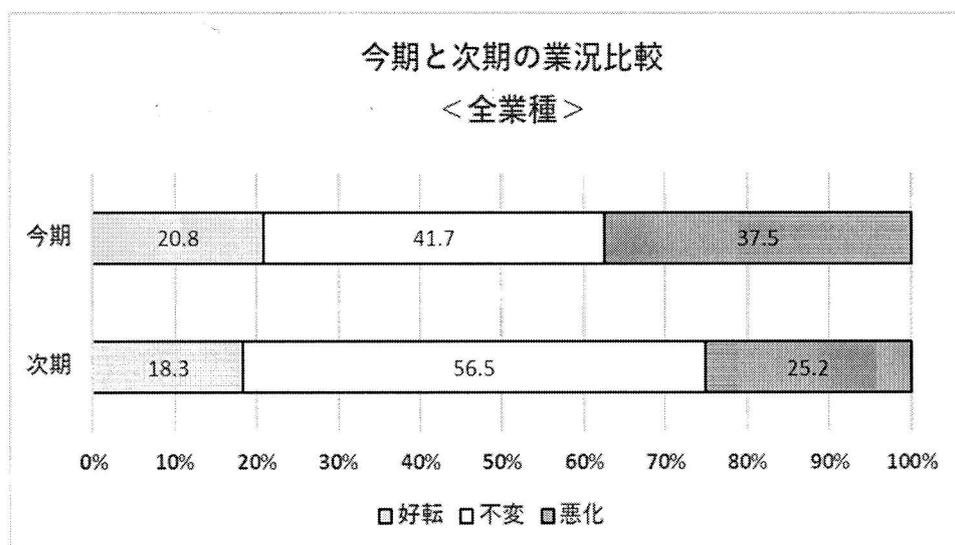
3-1.記号説明



とくに好調 (D.I. ≥ 50) 好 調 (50 > D.I. ≥ 25) まあまあ (25 > D.I. ≥ 0) 不 振 (0 > D.I. ≥ ▲25) きわめて不振 (▲25 > D.I.)

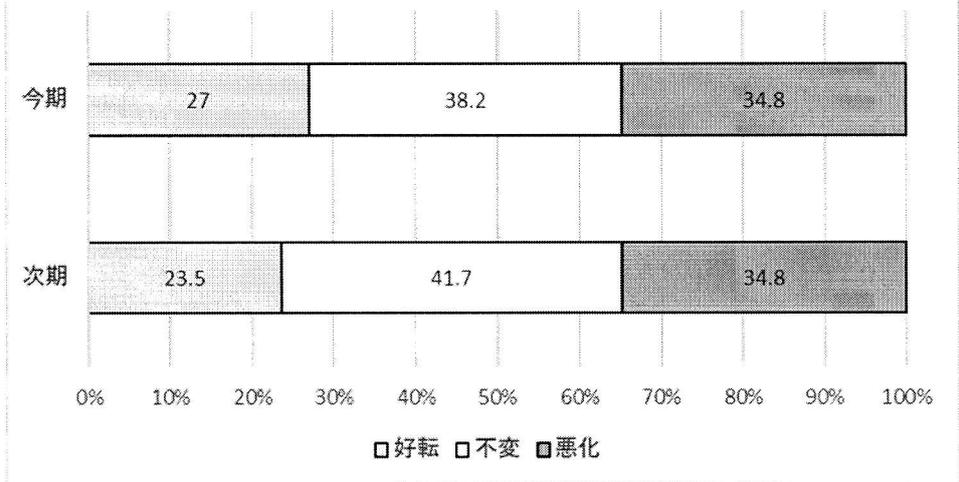
3-2. 業況

全業種



今期と次期の資金繰り比較

<全業種>



▲7.8

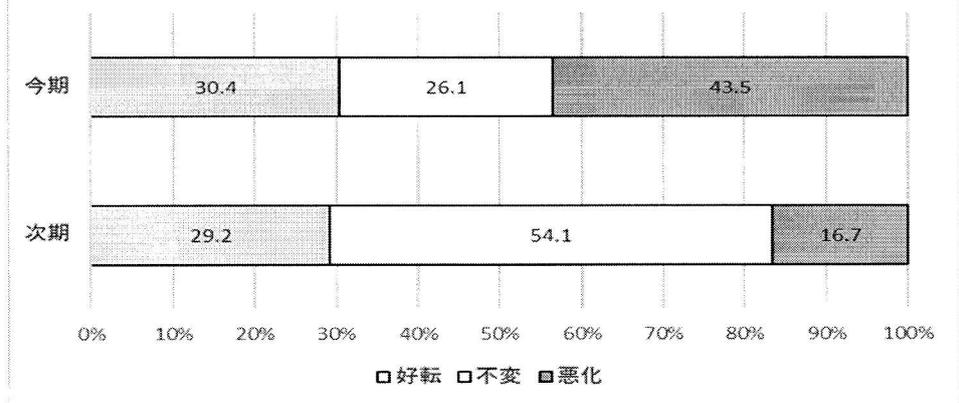


▲11.3

建設業

今期と次期の業況比較

<建設業>



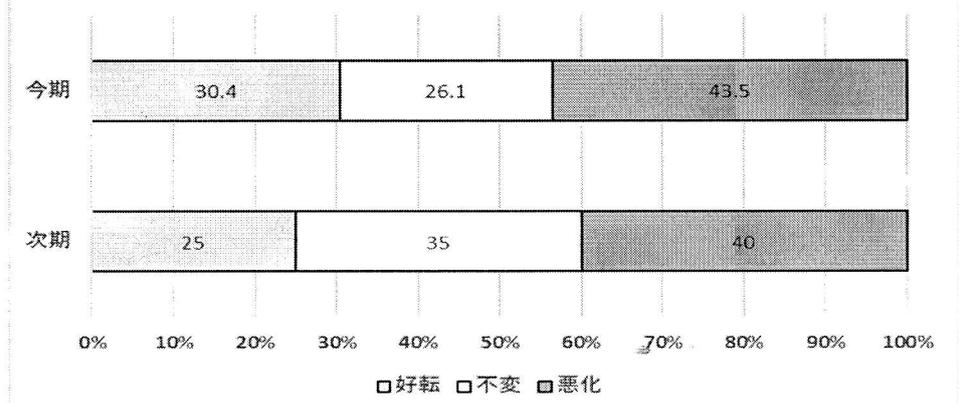
▲13.1



12.5

今期と次期の売上高(完成工事高、生産高)比較

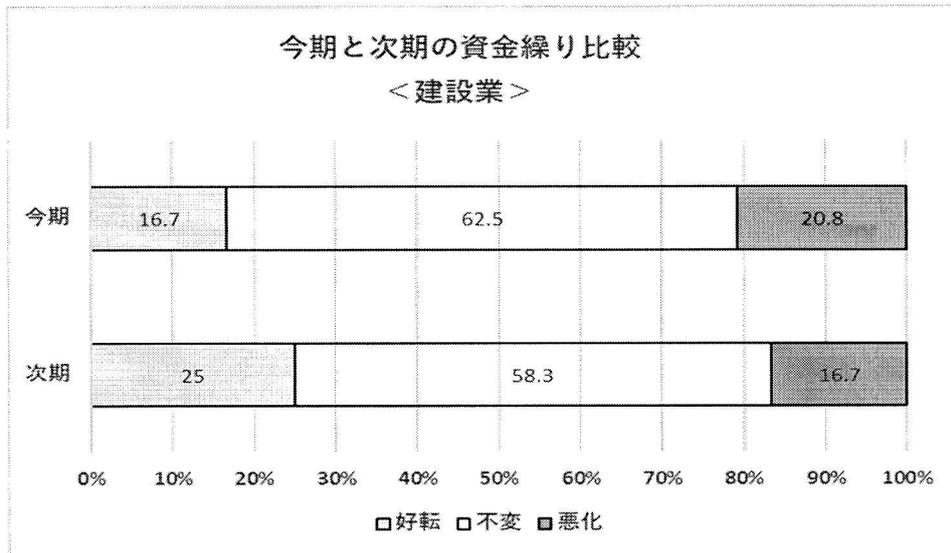
<建設業>



▲13.1



▲15.0

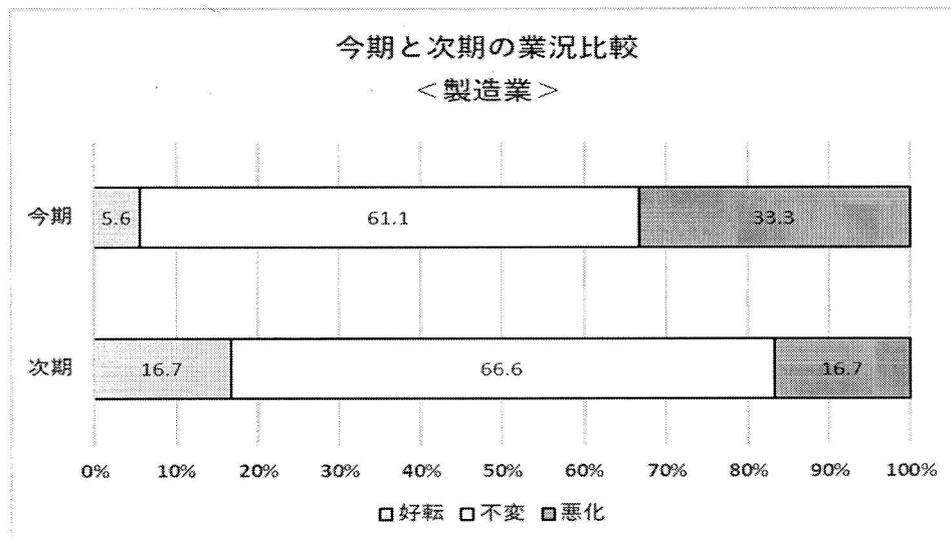


▲4.1



8.3

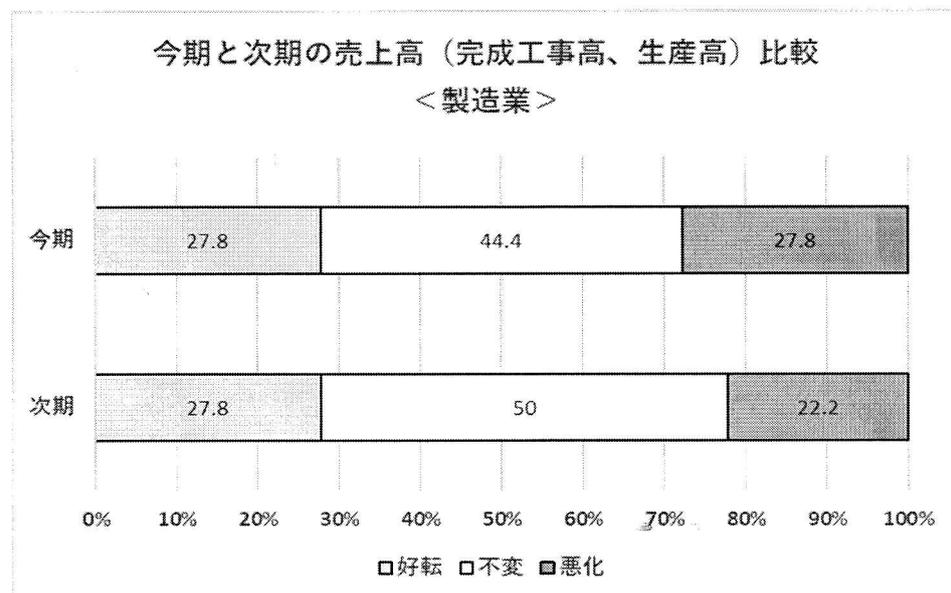
製造業



▲27.7



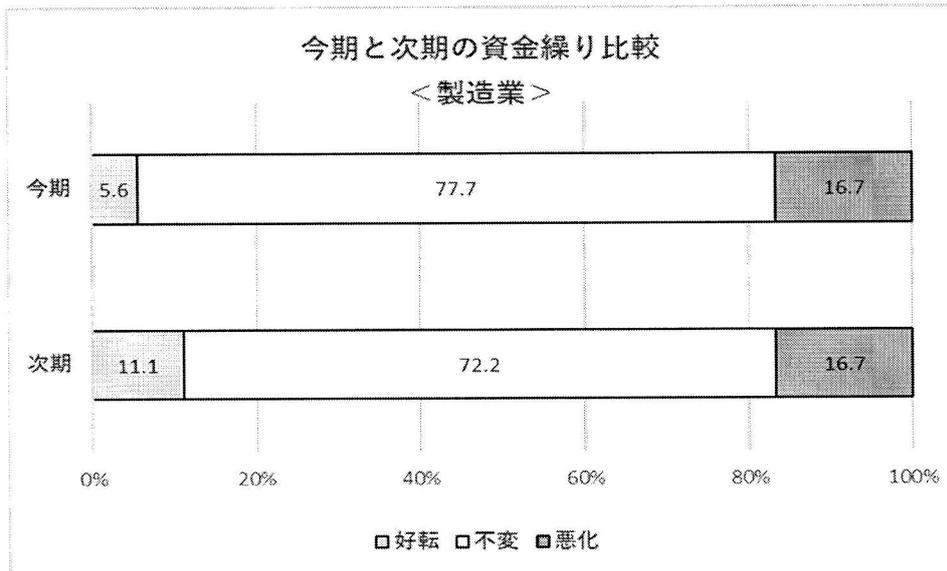
0.0



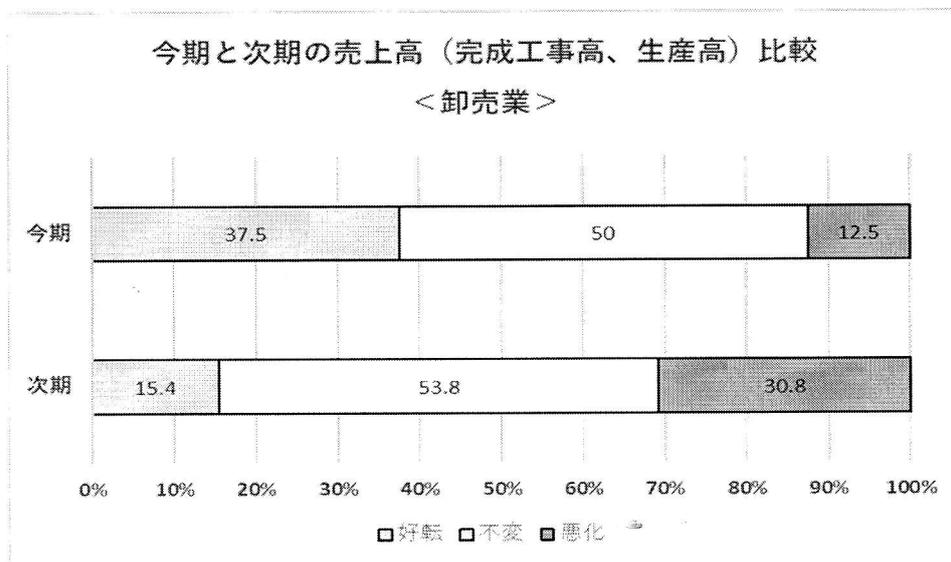
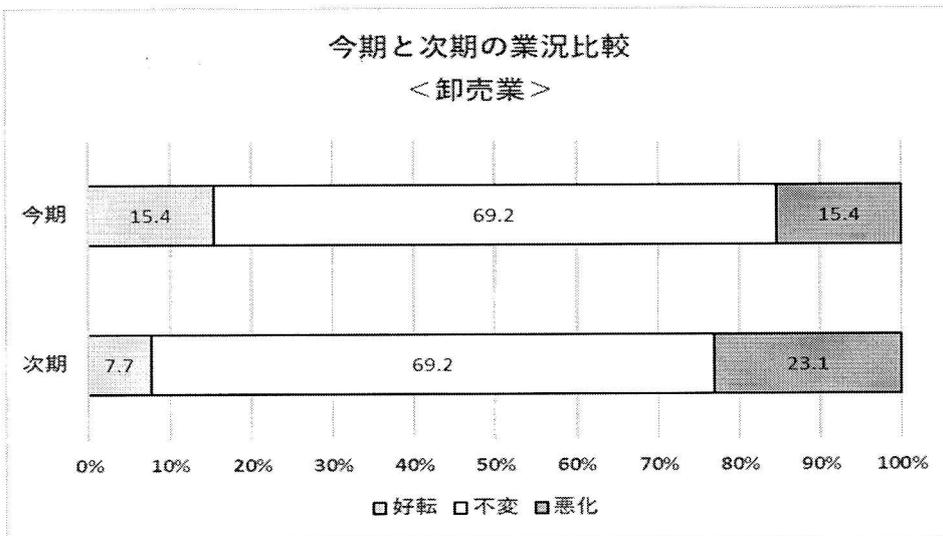
0.0

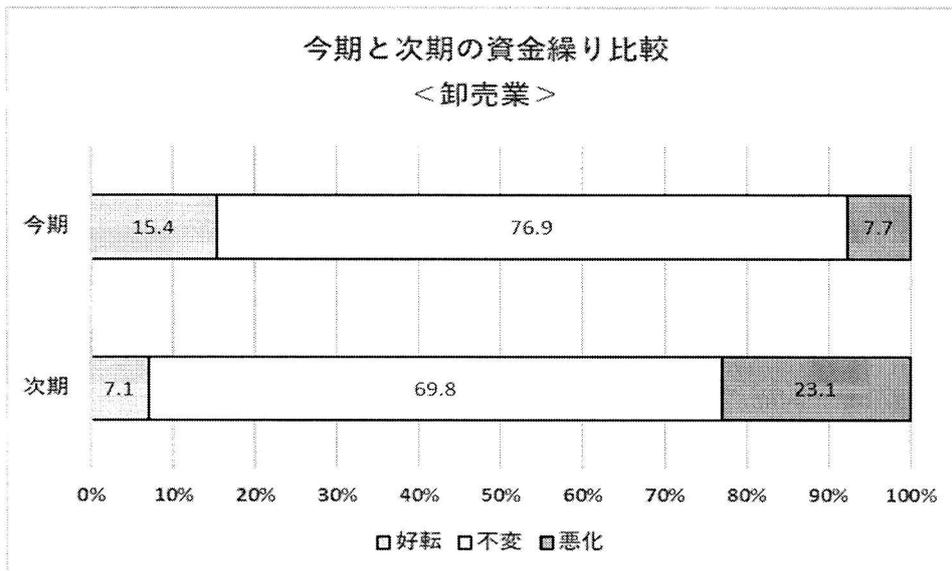


5.6



卸売業

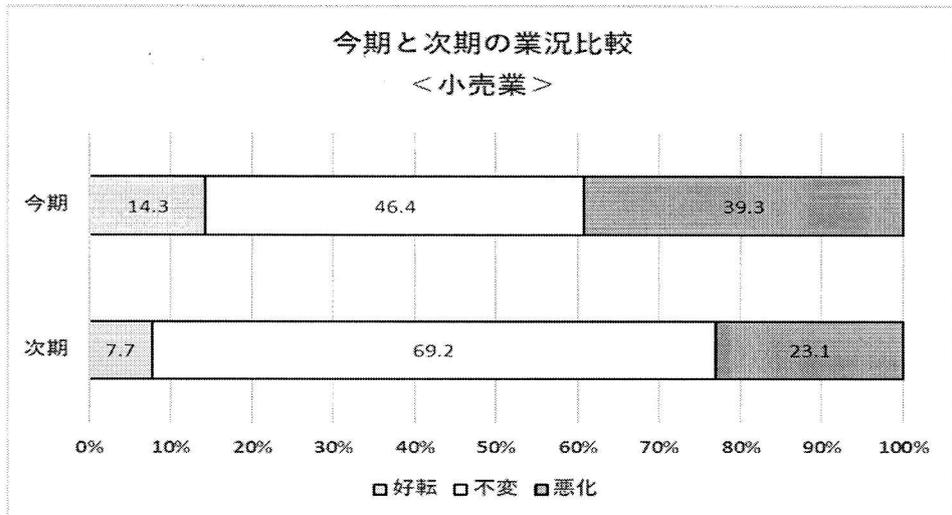




☘
7.7

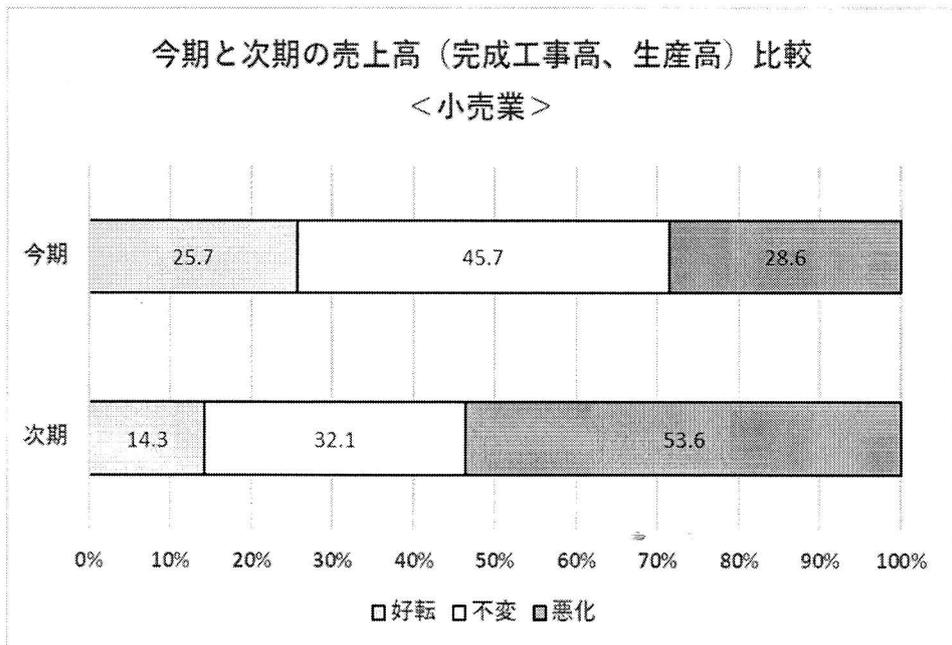
☁☂
▲16.0

小売業



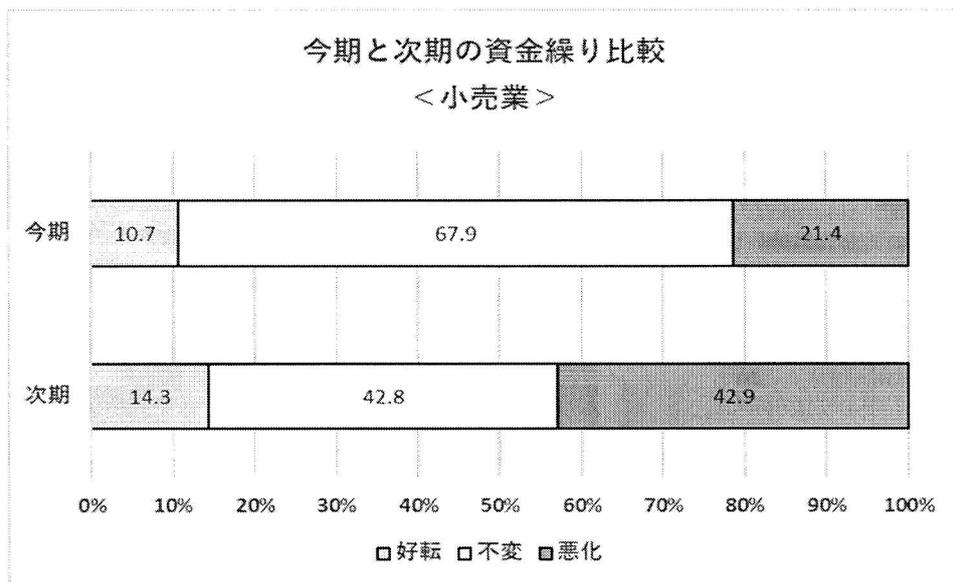
☂
▲25.0

☁☂
▲15.4



☁☂
▲2.9

☂
▲39.3

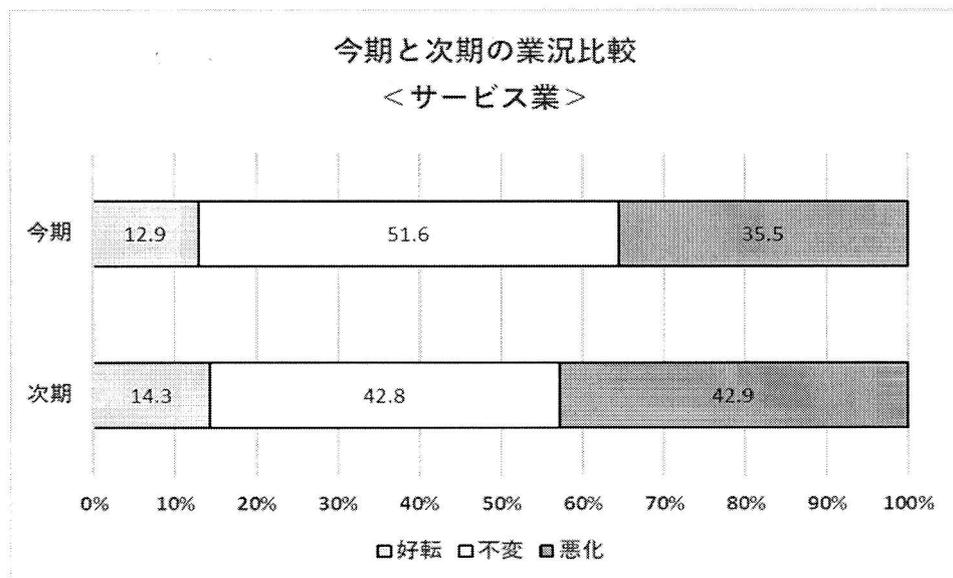


▲10.7



▲28.6

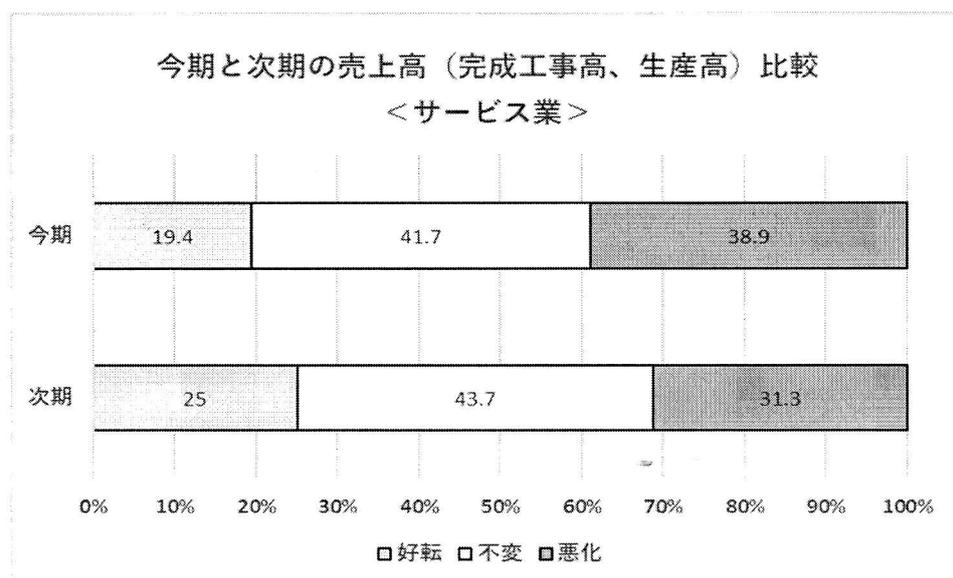
サービス業



▲22.6



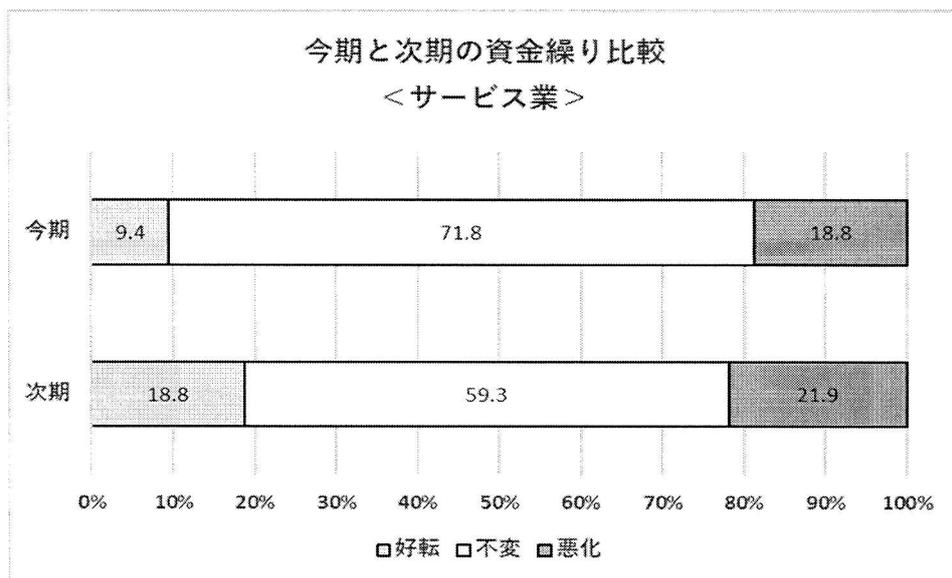
▲28.6



▲19.5



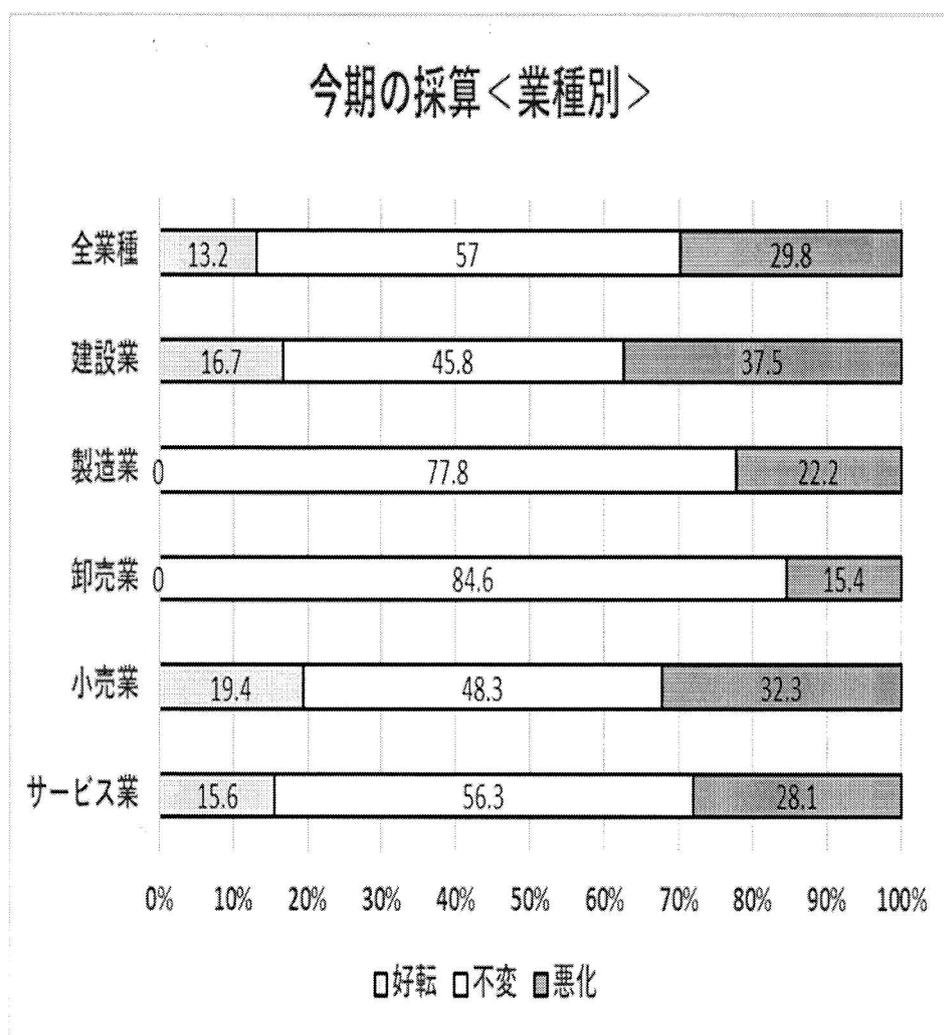
▲6.3



▲9.4

▲3.1

3-3. 採算



▲16.6

▲20.8

▲22.2

▲15.4

▲12.9

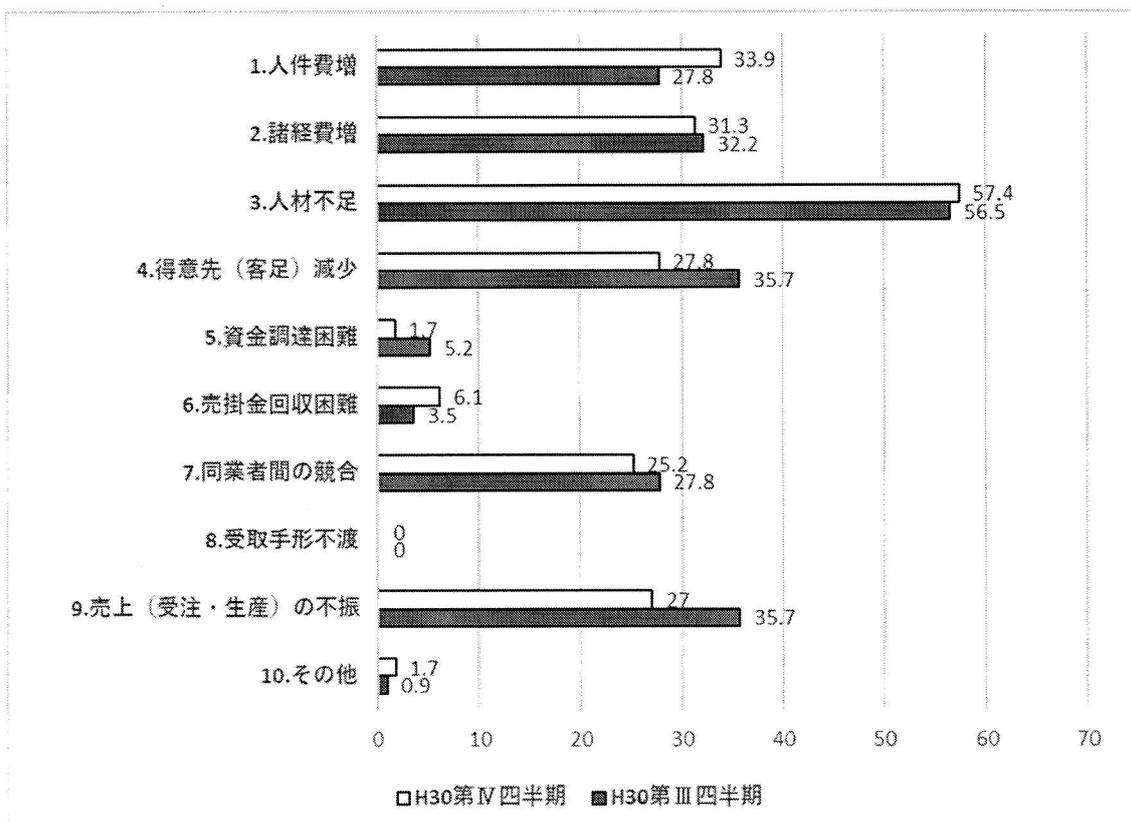
▲12.5

第4章 産業別経営上の問題点

4-1. 回答実数

業種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	諸経費増	人件費増 諸経費増	同業者間の競合 売上の不振	売掛金回収困難
製造業	人材不足	諸経費増	売上の不振 人件費増	得意先の減少 同業者間の競合	資金調達困難
卸売業	人材不足	得意先減少 人件費増	諸経費増	同業者間の競合 売上の不振	売掛金回収困難
小売業	得意先減少	同業者間の競合	人材不足 売上の不振	人件費増	売掛金回収困難 諸経費増
サービス業	人材不足	人件費増	諸経費増	得意先減少 売上の不振	同業者間の競合
合計	人材不足	人件費増	諸経費増	売上の不振	得意先減少

4-2. 回答割合 (%)



注：複数回答あり

第5章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。
設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2です。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
した	3件 12.5	6件 33.3	1件 7.7	5件 17.2	9件 28.1	24件 20.9
してない	21件 87.5	12件 66.7	12件 92.3	23件 79.3	22件 68.8	89件 77.4
無回答	-	-	-	1件 3.5	1件 3.1	2件 1.7
合計	24件 100.0	18件 100.0	13件 100.0	29件 100.0	32件 100.0	115件 100.0

※右側の数字はパーセンテージを表している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
土地	-	-	-	-	-	0件
店舗	-	-	-	1件	3件	4件
販売設備	-	-	-	1件	2件	3件
車両運搬具	2件	3件	-	2件	4件	13件
付帯設備	-	2件	-	2件	2件	6件
OA機器	1件	-	-	1件	1件	3件
福利厚生施設	-	1件	-	-	-	1件
その他	-	-	-	-	1件	1件

※複数回答があるため、表5-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(4件記述あり)

第6章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【建設業】

- ・人材不足のため、受注できない。
- ・働き方改革で労働時間を減らした上でどのように合理化し、出来高を上げていくか、また人材不足で持続可能なのか。
- ・作業員の高齢化と人材不足。

【製造業】

- ・即戦力の人材が不足。
- ・物流費高騰、原料高騰。
- ・消費税軽減税率の実施と影響。
- ・世代交代の時期が多く売上減少。

【卸売業】

- ・天候が不順なので、これ以上不順が続くと、商系資材は買ってもらえなくなる。JA 中心になっていくと思われる。

【小売業】

- ・タイヤ等の客単価が落ちている。国産品から安い輸入品へシフト。

【サービス業】

- ・地場産品を容易に使えない（流通、仕入価格等）、宣伝活動の際に特産品（物産）が扱えない。（物産協会が実施する場合を除く）
- ・人材不足に尽きる。
- ・地元利用客の減少。観光繁忙期との格差広がる傾向あり。
- ・諸経費が上がった。その分をメニューに転嫁することは難しい。対策が必要だ。